

## 文化・芸術

### 「水道橋#31」

1981年、セラチンシルバーク  
プリント、90・0センチ×60・0センチ（作家蔵）

石内 都（1947年）

「水道橋」としたこのシリーズは、石内都さんが東京歯科大学からの依頼を受けて実現したものです。取り壊しの決まった昭和初期の校舎に1年通い撮影の後、1981年、「写真輯 水道橋 東京歯科大学」が刊行されました。今回の展示では、膨大なプリントから、82年の個展「壇つめの時間 私説・東京歯科大学」で発表した作品を含む自選の9点を出品しています。

大学6年の人の出入りのサイクルへの興味から始まった撮影は、密室の迷宮をくまなく歩き、実験室や解剖室の歯型、石こうの模型、標本に及びました。これまで撮り歩いた私的な場所との差が感じられなくなるほどに夢中に撮ったといえます。時代の空気を充満させる建物の息づきがとどめられました。（小此木）

企画展「石内都  
STEP THROUGH TIME」から

《名画の扉》

